

## チェックアンドレビューに向けた アクションプランの進捗状況調査について (案)

### 1. これまでの経緯

原型炉開発総合戦略タスクフォース(以下、「タスクフォース」という。)は、平成 28 年 2 月に、「原型炉開発に向けたアクションプラン」を取りまとめるとともに、その後の ITER 計画のスケジュール見直し等に伴うアクションプランの見直しを行い、昨年 12 月 18 日開催の核融合科学技術委員会において、現時点におけるアクションプランとして承認を得たところである。

### 2. チェックアンドレビューに向けた進捗状況調査の必要性

- (1) 「核融合原型炉研究開発の推進に向けて」(平成 29 年 12 月 18 日 核融合科学技術委員会)においては、第 1 回中間チェックアンドレビュー(C&R)を 2020 年頃に、第 2 回 C&R を 2025 年から数年以内に行うこととされており、それらに向けて、アクションプランが着実に実施される必要がある。
- (2) タスクフォースは、我が国の原型炉開発の司令塔として、アクションプランの実施状況について、オールジャパンの立場から把握する責任を有していると考えられることから、3. の方法により、タスクフォースにおいてアクションプランの進捗状況を調査し、核融合科学技術委員会に報告することとする。

### 3. 進捗状況調査の方法

- (1) 進捗状況調査は、アクションプランの課題(「0. 炉設計」～「14. レーザー方式」の 15 項目)ごとに行う。
- (2) 具体的な方法としては、アクションプランの各課題の担当委員が、関係機関の活動状況を取りまとめて、別紙様式による報告書を作成する。
- (3) 当面のスケジュールとしては、本年 3 月 28 日開催予定の核融合科学技術委員会に第 1 回目の報告を行う。
- (4) 2020 年頃に予定される第 1 回 C&R に向けて、その後も随時報告書を更新し、定期的に核融合科学技術委員会への報告を行う。

(別紙様式)  
 ※炉設計を例に作成

## アクションプラン進捗状況報告書(案) (第1回チェック・アンド・レビューに向けて)

課題名: 炉設計

報告日: 年 月 日

小課題名	アクション	期限	第1回C&Rまでの要完了事項	実施期待機関	進捗状況	進捗率	進捗状況の評価	課題達成のために必要な措置
炉概念と建設計画	物理・工学ガイドライン	19	※	特	※だれが、何を、どれだけ行っている状況かを記載。		※期限までの期間に対して現在の進捗状況はどう評価されるか、期限までの達成の見通しなどを記載。	※課題を達成するために必要と考えられることを記載。
	基本概念設計	19	※	特			プルダウンにより、 ・「極めて順調」 ・「順調」 ・「加速が必要」	
	燃料サイクル戦略	26		特/TF				
	統合シミュレータ	26		Q/N/大/特				
	コスト評価	31		特				
機器設計	SC概念の基本設計	19	※	特/Q				
	原型炉TBM目標	19	※	特/Q				
	BOPを含む機器構成案	19	※	特/産				
安全確保指針	安全確保方針案	19	※	特/産				
物理・工学・材料DB	原型炉物理DB	26		Q/大/F/特				
	工学・材料DB	26		Q/大/F/特				